

国連総会本会議における原口国連大使ステートメント（仮訳）
（議題二十六「中東情勢」及び議題二十七「パレスチナ問題」）

平成十六年十一月二十日

国際連合日本政府代表部

議長

冒頭、アラファト議長の死去に関し、御遺族、パレスチナ人、暫定自治政府及びパレスチナ解放機構に対して、心から哀悼の意を表します。アラファト議長は、中東和平の実現を目指し、一九九三年にイスラエルとの間で歴史的なオスロ和平合意を結び、また、一九九六年にはパレスチナ人の直接選挙によりパレスチナ暫定自治政府長官に選出され、パレスチナ人の国造りを目指して指導的な役割を果たしました。パレスチナ人が、この悲しみを早く乗り越え、イスラエルと平和的に共存するパレスチナ独立国家の樹立に向け、一致団結して取り組むことを祈念致します。

アラファト議長の死去により、図らずも中東和平プロセスは転機を迎えています。国際社会は「ロードマップ」を再活性化させ、「ロードマップ」に従って中東和平プロセスを前進させるため、この機会をとらえ、あらゆる努力を傾注するべきです。イスラエル・パレスチナ紛争の解決なくして中東地域全体の平和と安定はありません。アラファト議長の死去によってもたらされた新たな状況に対応するため、我々は今後の努力の出発点としてこの認識を新たにする必要があります。

議長

我々は、当面最も重要な課題はパレスチナ自治政府長官選挙を成功させることであると考えます。この観点から、パレスチナ自治政府とイスラエル政府の間の協力が緊要であり、両者の間でこのような協力のための協議が行われていることを歓迎します。我が国も、このプロセスの成功ため、意味のある貢献を行っていきたいと考えています。

言いつまでもなく、和平推進にコミットしたパレスチナ新指導部が可能な限り広範なパレスチナ人の支持を得て選出され、責任ある統治体制を構築することは、中東和平のために死活的に重要です。パレスチナ側は、過激派の行動を抑制するための有効な措置をとらなくてはなりません。また、東エルサレム在住パレスチナ人の参加、移動の自由に対する制限解除といった問題は適切に解決される必要があります。イスラエルがこの共同作業に協力することは必須です。

パレスチナにおける選挙の後に到来する重要な課題は、イスラエルによるガザ及び北部西岸からの撤退です。我々は、このイニシアティブが「ロードマップ」と整合的な形で実施されるのであれば、「ロードマップ」の再活性化に大いに資すると考えており、その意味でこれを歓迎致します。撤退はパレスチナ側との密接な調整の下で実施されねばなりません。イスラエルの友人に対し、この点に関する真剣な考慮を促したいと思います。

議長

我々は、イスラエル・パレスチナという二つの国家の平和的共存のみがこの紛争に対する唯一の持続可能な解決策であると

信じ、これまで政治・経済両面にわたって和平プロセスに貢献してきました。政治面では、これまであらゆるチャネルを活用し、和平に前向きな姿勢をとるよう関係国に働きかけてきました。さらに来年一月からは、安保理の非常任理事国として、安保理において中東和平に関する議論に積極的に参加していく考えです。

経済面では、パレスチナ独立国家樹立に向けた努力を支援するため、一九九三年のオスロ合意以降、約七億ドルに及ぶ対パレスチナ支援を行ってきました。最近では、人道支援、改革支援、信頼醸成を三つの柱として支援を行っています。新たな局面を迎えた今、我が国は、両当事者の和平努力を更に支援していく考えです。

議長

我が国とイスラエル及びパレスチナとの関係はともに極めて良好です。我が国は、友人の主張に常に真摯に耳を傾ける用意がある旨述べ、結語したいと思います。

ごつも有り難うございました。